

鶴ヶ峰連立News 【第4号】

～ 相模鉄道本線の鶴ヶ峰駅付近で連続立体交差事業を進めます ～

都市計画決定しました！

鶴ヶ峰駅付近（西谷駅～二俣川駅間）では交通渋滞の解消、歩行者の安全性の向上、災害時における緊急活動の迅速化、鉄道に分断された地域の一体化等を目指し、10箇所の踏切について、鉄道を地下化する連続立体交差化により除却する検討を平成28年度から進めてきました。

このたび、「相模鉄道本線（鶴ヶ峰駅付近）連続立体交差事業」は、令和3年11月12日に開催された第160回横浜市都市計画審議会を経て、1月25日に都市計画決定されました。都市計画決定を受け、今後は関係機関との調整及び調査等を行い、早期着工を目指します。

事業概要

- 【事業名】相模鉄道本線（鶴ヶ峰駅付近）連続立体交差事業
- 【区間】西谷駅～二俣川駅間
- 【延長】約2.8km
- 【構造形式】地下方式
- 【踏切除却数】10箇所
(うち開かずの踏切*9箇所)
- 【事業主体】横浜市

※開かずの踏切…ピーク時1時間あたり40分以上遮断している踏切



鶴ヶ峰駅周辺地区の状況



主な整備効果

交通の円滑化

- ・踏切の除却により交通渋滞が解消されます。

安全性の向上

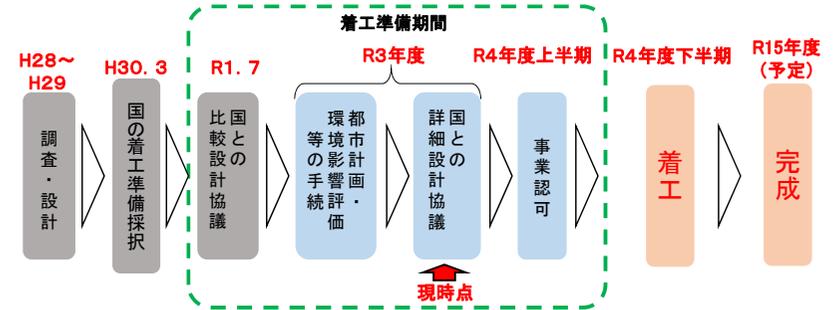
- ・道路と鉄道の安全性の向上や緊急時の活動等の迅速化が図られます。

地域の発展

- ・鉄道で分断されていた地域の一体化が図られ地域の発展に大きく寄与します。

今後の進め方

令和5年度の着手を目指し、平成30年度から都市計画、環境影響評価等の手続や国との協議を5年を目途に進めてきました。手続など順調に進んでいることから、**約1年前倒し**して、**令和4年度下半期に工事着手**します。



これまでにお寄せいただいた主なお問い合わせ内容

【事業の進め方について】

- Q：今後、住民への説明は実施するのか？
A：事業認可取得時や工事着手時などのタイミングで近隣の皆様へ説明します。
- Q：自分の家が都市計画線内に入っているが、今後どうなるのか？
A：都市計画線の位置を現地に示すため、まずは、敷地内を測量させていただきます。測量の実施にあたっては個別にご説明させていただきます。測量の結果、事業に必要な土地については、お譲りいただくこととなりますので、ご理解・ご協力をお願いします。詳しくは、個別にご説明させていただきます。
- Q：事業のことを詳しく知りたいがどうすればよいか？
A：下記の連絡先へお問い合わせいただければご説明します。

【計画に関すること】

- Q：地下にできる新しい鶴ヶ峰駅は、今の駅の場所から変わるのか？
A：現在の駅の地下に新駅を構築すると利用者の方々への影響が大きくなるため、横浜市が保有している今の駅の北側にある用地（鶴ヶ峰駅前第4駐輪場付近）を活用し、駅を整備します。
- Q：鶴ヶ峰駅前第4駐輪場はどうなるのか？
A：駐輪場は事業区域に含まれているため、令和5年度から使用できなくなる予定です。そのため、令和4年度内に周辺に代替駐輪場を整備します。

【関連事業】

- Q：まちづくりの状況はどうなっているのか？
A：平成31年3月に「まちづくり構想」が策定されています。連続立体交差事業とまちづくりが、一体的に進められるよう、連携を図っていきます。

お問い合わせ

横浜市 道路局 建設部 建設課（鉄道交差調整担当） HP:
TEL : 045-671-2792 / FAX : 045-651-6527 / E-mail : do-tetsudou@city.yokohama.jp

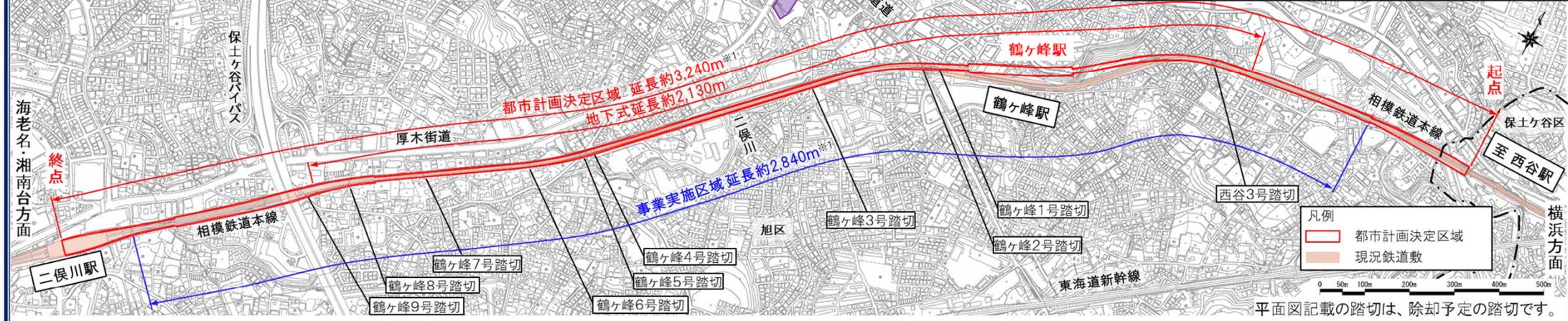
都市計画の内容

平面図

【都市計画決定理由】

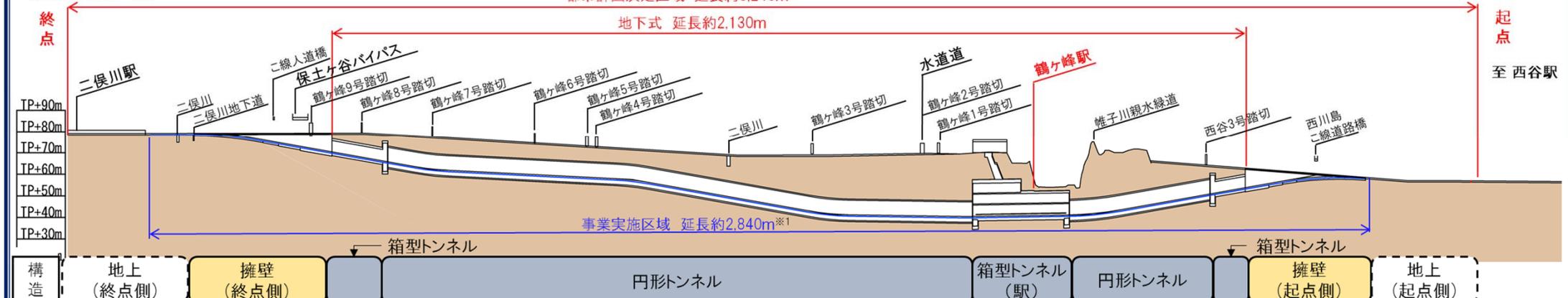
道路と鉄道を連続立体交差化し、10箇所の踏切を除却することで、踏切における渋滞の解消、歩行者の安全性の向上、災害時における緊急活動の迅速化を図るとともに、鉄道により分断されていた地域の一体化を実現するため、相模鉄道本線(鶴ヶ峰駅付近)を都市計画決定しました。

都市計画決定事項	
路線名	相模鉄道本線(鶴ヶ峰駅付近)
起点	保土ヶ谷区西谷町
終点	旭区二俣川2丁目
延長	約3,240m(うち地下式約2,130m)
構造形式	地下式、地表式
旭区白根一丁目及び鶴ヶ峰二丁目地内に鶴ヶ峰駅を設ける。	

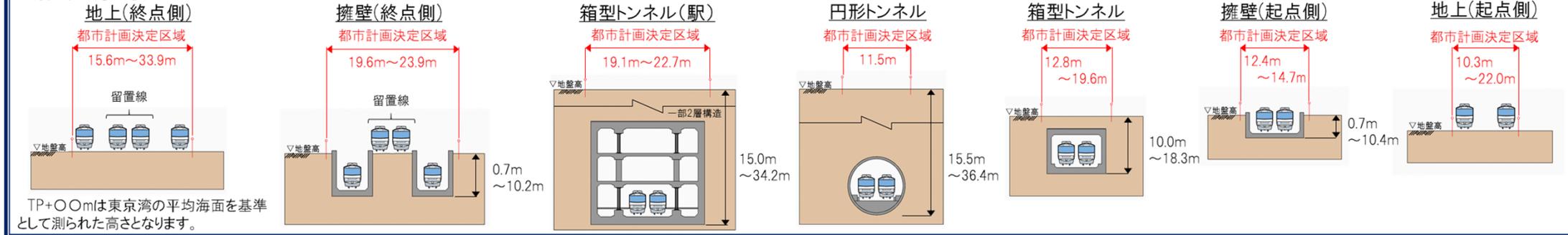


平面図記載の踏切は、除却予定の踏切です。

縦断図(参考)



断面図(参考)



※1 都市計画運用指針(平成30年11月 国土交通省)等に定めるところにより、都市計画決定区域の延長と事業実施区域の延長は異なります。